

ドキュメンタリーの DOCUMENTARY DESTINATIONS 国際出口いろいろ

PASSENGER
ANYONE

FLIGHT
J-Docs Hub

DATE
2026-2027



ドキュメンタリーの国際人材育成に取り組むJ-Docs Hubが主催する連続セミナーです。

日本のドキュメンタリー作品が海外でどのように上映・放送・配信され、観客に届けられてきたのかをテーマに、その展開の可能性を探ります。毎回ゲストスピーカーを迎え、実際の事例や現場での経験をもとに、国際展開の実践的な知見を共有します。

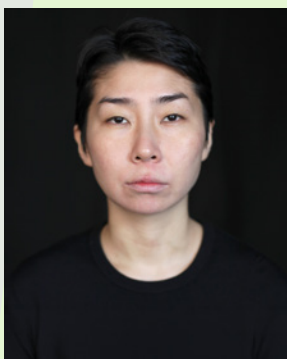
ドキュメンタリーには、本来多様な「国際的な出口」が存在するはず。本セミナーでは、成功事例だけでなく試行錯誤のプロセスにも光を当てながら、作品を海外へ届ける具体的な方法を学び、ビジネスや文化交流の新たな機会を広げるヒントを探ります。

制作者、学生、研究者、映画関係者など、関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。ぜひお誘い合わせのうえご参加ください。

J-Docs
Hub

Vol.02 ✈ 映画作家 小田香を世界へ—— パララックスの国際配給戦略

Guests



小田香 おだ・かおり



曹柳莺 ツァオ・リウイン
Cao Liuying

2026 **7.26** 日

14:30 開場

15:00-15:48 参考上映

『母との記録「働く手」』(25分)

『Underground アンダーグラウンド』シズル・リール
(資金調達のために編集した映像)(22分)

16:00-18:30 セミナー

18:30-19:30 交流タイム



入場無料
事前予約

<https://deguchi0726.peatix.com/>



城西国際大学
東京紀尾井町キャンパス
1号棟地下ホール

東京都千代田区紀尾井町3-26

アクセス 東京メトロ有楽町線 麹町駅1番出口より徒歩3分
半蔵門線・南北線 永田町駅9番出口より徒歩5分
丸の内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分

映画作家 小田香を世界へ—— パララックスの国際配給戦略

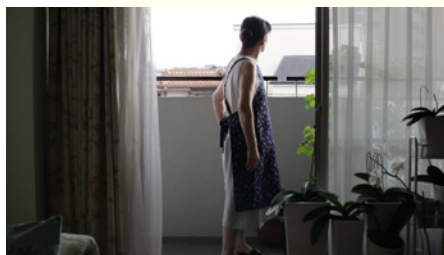
一本の映画は、どのようにして世界へ届くのか？

世界の映画祭や劇場で作品を発表し続ける映画作家・小田香さんと、最新長編『Underground アンダーグラウンド』のワールドセールスを担うパララックス社のツァオ・リウインさんを迎え、日本発のアート映画が世界へ羽ばたくプロセスを、作家とセールス、それぞれの視点から読み解きます。

近年、小田さんの作品はベルリンをはじめ、高雄、北京、ロンドン、メキシコシティなど世界各地の映画祭や劇場に招かれ、特集上映や劇場公開が続いています。本セミナーでは、海外で作品を発表し、国際的なネットワークを築いてきた経験が、創作やキャリアに与える影響を伺います。後半では、世界のアート映画を取り巻く最新の動向や国際マーケットの仕組み、小田作品が海外でどのように受け止められ、世界へ届けられているのかを、ワールドセールスの現場から解説します。

セミナーに先立ち、『Underground アンダーグラウンド』のシズル・リールと、小田さんの個人的な短編作品を参考上映します。シズル・リールとは、製作資金を集めるために企画マーケットや助成機関、セールス会社などに向けて制作される映像で、一般公開される機会はほとんどありません。完成作品へ至る以前の「映画が世界へ旅立つための映像」を体験できる、貴重な上映です。

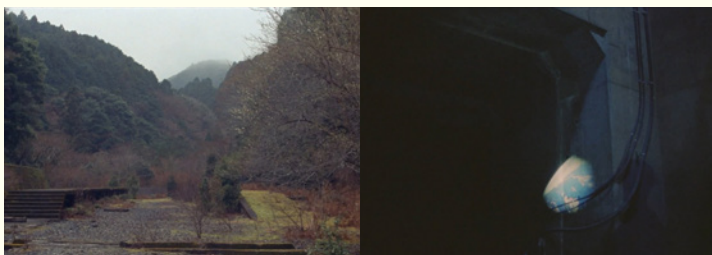
参考上映作品



『母との記録「働く手」』

2025/25分 / 製作: FieldRain

恵比寿映像祭2025のコミッション・プロジェクト委嘱作品。『ノイズが言うには』(2010)、『カラオケ喫茶ボサ』(2022)に続き、作家がその母と共作した短編映像。



『Underground アンダーグラウンド』シズル・リール

2021/22分版 / 製作:トリクスタ

地下鉄や沖縄戦の洞窟など地下空間の闇と音に耳目をすませ、土地の歴史と死者との邂逅を果たす——16mmフィルムで撮影し、サウンドデザインを駆使した83分のアートフィルムの製作資金調達ために編まれた短編映像。

Guests

小田香 おだ・かおり

1987年大阪生まれ。映画作家。土地や人間に刻まれた不可視の歴史を手がかりに、集団の記憶へと接近する視覚的かつ映画表現を探索する。ハンガリーの映画作家タル・ペーラが創設したfilm.factoryに参加。長編デビュー作『鉱 ARAGANE』(2015)は山形国際ドキュメンタリー映画祭特別賞を受賞。続く『セノータ』(2020)、『GAMA』(2023)も国際的に高い評価を受ける。20年に大島渚賞(第1回)、21年に芸術選奨文部科学大臣新人賞(映画部門)を受賞。日本各地の地下空間を16mmフィルムで捉えた最新長編『Underground アンダーグラウンド』(2024)は、ベルリン国際映画祭フォーラム部門に選出された。映画制作と並行して、絵画や映像インスタレーションの制作・展示にも取り組む。近年の活動に、東根市まなびあテラスにおける個展「小田香 光をうつして—映画と絵画」(2020)、市原湖畔美術館「メヒコの衝撃展」(2021)、青森県立美術館と協働したアート・プロジェクト「美術館堆肥化計画」(2021-2023)への参加など。

曹柳菀 ツァオ・リウイン / Cao Liuying

映画製作会社Midnight Blur Filmsとその国際セールスエージェントParallax Filmの共同設立者。アジアの長編・短編映画を手がけ、世界トップ映画祭への出品および世界の主要地域への配給・販売を行なっている。また、映画批評家、キュレーターとしても活動する。共同設立した映画批評プラットフォームDeepFocusは中国語圏で50万人を超えるフォロワーを有する。オーストリア・ウィーンでRed Lotus Asian Film Festivalの共同ディレクター、ドイツ・ミュンヘンでChinese Film Festivalのアーティスティック・ディレクターを務める。そのほか上海国際映画祭、ベルリン批評家週間、人材育成プログラムFirst Cut Labに継続的に貢献している。

聞き手 日向史有 ドキュメンタリー監督「東京クルド」「アイアム・ア・コメディアン」
藤岡朝子 山形国際ドキュメンタリー映画祭副理事長

このイベントの収録映像の一部は
後日J-Docs Hubの公式サイトで公開します。

今後の開催予定

Vol.03 2026/9/22(火・祝)午後 @京都芸術大学 高原校舎
『大学が映画を買う時代——知られざる北米教育市場の可能性』

ゲスト:マーク・ノーネス(映画研究者/ミシガン大学名誉教授)

秦岳志(映画編集者/プロデューサー/京都芸術大学准教授)

J-Docs
Hub



www.jdocshub.jp
Contact: info@jdocshub.jp

J-Docs Hub [ドキュメンタリー国際人材育成プロジェクト]

主催:特定非営利活動法人Tokyo Docs

助成:文化芸術活動基盤強化基金[Japan Creator Support Fund]

共催:城西国際大学メディア学部竹藤ゼミ